



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 林兼産業株式会社

コード番号 2286 URL <http://www.havashikane.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 熊山 忠和

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 総務部長

(氏名) 松尾 和成

TEL 083-266-0210

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	22,722	△7.9	388	92.9	398	93.6	403	213.2
24年3月期第2四半期	24,684	△4.5	201	89.2	205	130.7	128	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 249百万円 (11.4%) 24年3月期第2四半期 224百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.53	—
24年3月期第2四半期	1.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	29,039	—	4,335	—	—	13.2
24年3月期	27,218	—	4,097	—	—	13.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,842百万円 24年3月期 3,599百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,800	△5.2	590	△4.0	490	△12.6	360	—	4.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	89,100,000 株	24年3月期	89,100,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	60,659 株	24年3月期	60,529 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	89,039,434 株	24年3月期2Q	89,040,024 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報（注意事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災後の復興需要が景気を底上げするものの、欧州債務危機に端を発する世界景気の減速などの影響から、回復の動きに足踏みが見られました。食品業界におきましても、景気の停滞感を反映して個人消費が低調に推移するなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか当社グループは、本年4月からの2カ年を経営体質強化の基盤づくりの期間とし、新たに「2カ年経営計画」をスタートさせました。この新たな経営計画のもと、経営資源の選択と集中により構造改革を進め、収益基盤の改善と持続的な事業発展を目指しております。

経営計画に基づき、当社は本年6月をもって、不採算が続いていた下関飼料工場での畜産用飼料の製造を中止いたしました。今後は、養魚用飼料の製造販売に経営資源を集中させることで、飼料事業の収益体制の再構築に取り組んでまいります。

また、当社が新たに進めておりますハラル食品事業につきましては、マレーシアに設立した合弁会社において、ハラル認証を受けたソーセージの販売を開始いたしました。当社が長年培ってきた常温流通可能な魚肉ソーセージの製造技術を活かし、マレーシアおよび世界各国のイスラム圏のハラル食品市場に事業展開してまいります。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、肉類の販売数量の減少や畜産用飼料の自社生産を中止した影響により227億22百万円（前年同期比7.9%減少）となりました。損益面におきましては、飼料事業の収益が改善したことや、固定費の削減に努めたことなどにより、営業利益3億88百万円（前年同期比92.9%増加）、経常利益3億98百万円（前年同期比93.6%増加）となりました。四半期純利益は受取賠償金70百万円の計上などにより4億3百万円（前年同期比213.2%増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

#### ①水産食品事業

魚肉ねり製品におきましては、市場の縮小傾向が続き国内生産量は減少いたしました。こうしたなか、当社は主力製品であるMソーセージの販売数量の減少もあり、減収となりました。

機能性食品におきましては、当社は高齢者向けソフト食「ソフミート」や「催事用和菓子」などの販売に注力したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は23億61百万円（前年同期比11.0%減少）、セグメント利益（営業利益）は64百万円（前年同期比34.0%減少）となりました。

#### ②畜産食品事業

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、国内生産量は低価格品を中心に増加いたしました。こうしたなか、当社はロースハムなど単味品の販売数量が減少し、減収となりました。

肉類におきましては、食肉相場が安値で推移するなか、豚肉、牛肉の国内生産量は増加いたしました。こうしたなか、当社は採算性を重視した取引に努めた結果、販売数量が減少し、減収となりました。

調理食品におきましては、当社は惣菜などの販売が好調に推移し、販売単価が上昇したことで、増収となりました。

これらにより、売上高は84億2百万円（前年同期比8.0%減少）となったものの、採算性重視の取り組みにより、セグメント利益（営業利益）は1億10百万円（前年同期比59.2%増加）となりました。

### ③飼料事業

養魚用飼料におきましては、メーカー各社の価格競争が激しくなるなか、国内生産量は増加いたしました。こうしたなか、当社は大口取引先を中心にハマチ用E P飼料の販売数量を伸ばしたものの、販売単価が下落したことで減収となりました。

水産物におきましては、当社はブリ加工品「うまかぶり」の販売数量の増加と、うなぎ相場の高騰により、増収となりました。

畜産用飼料におきましては、自社生産を中止した影響もあり、採卵用・ブロイラー用飼料などの販売数量が減少したことで、減収となりました。

畜産物におきましては、当社は鶏肉「赤鶏さつま」の販売に注力したものの、鶏肉相場の低迷により、減収となりました。

これらにより、売上高は109億88百万円（前年同期比7.2%減少）となったものの、生産効率の改善などにより、セグメント利益（営業利益）は6億73百万円（前年同期比26.9%増加）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債、純資産等の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ18億21百万円増加し、純資産が2億37百万円増加した結果、自己資本比率は13.2%となりました。

変動の主なものは、資産では受取手形及び売掛金が14億12百万円増加し、負債では買掛金が14億29百万円増加しました。

### ②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、財務活動によるキャッシュ・フローは増加したものの、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローの減少により、前連結会計年度末に比べ2億55百万円減少の24億94百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は63百万円（前年同期は57百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の増加額が16億11百万円、税金等調整前四半期純利益の計上が4億55百万円あったものの、売上債権の増加額が22億69百万円あったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は4億67百万円（前年同期は2億4百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が4億34百万円あったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は2億75百万円（前年同期は5億22百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が9億19百万円あったものの、長期借入れによる収入が13億28百万円あったことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、復興需要が引き続き景気を押し上げることが期待されるものの、欧州債務危機や中国経済の失速といった海外経済の状況が、依然わが国経済に影響を及ぼすことが懸念されます。

こうしたなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間は損益面において当初予想を上回ったものの、足下の原材料価格が高騰していることなどから、通期の業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注意事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,186,054	2,746,679
受取手形及び売掛金	4,800,806	6,213,597
商品及び製品	1,627,337	1,766,423
仕掛品	1,535,408	1,631,281
原材料及び貯蔵品	1,249,199	1,237,283
その他	238,842	318,387
貸倒引当金	△140,983	△186,760
流動資産合計	12,496,665	13,726,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,891,329	3,884,618
土地	4,655,628	4,652,994
その他(純額)	1,671,769	1,743,323
有形固定資産合計	10,218,728	10,280,936
無形固定資産		
投資その他の資産	66,982	59,878
破産更生債権等	2,884,274	3,673,939
その他	2,918,146	2,688,511
貸倒引当金	△1,366,622	△1,390,961
投資その他の資産合計	4,435,798	4,971,489
固定資産合計	14,721,509	15,312,304
資産合計	27,218,174	29,039,196
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,543,772	4,972,986
短期借入金	9,916,593	9,746,392
未払法人税等	61,483	50,955
賞与引当金	238,272	262,965
製品回収関連損失引当金	1,989	—
畜産用飼料製造中止損失引当金	173,000	170,046
その他	1,884,098	1,984,938
流動負債合計	15,819,208	17,188,285
固定負債		
長期借入金	4,735,303	5,094,854
退職給付引当金	1,639,321	1,634,756
資産除去債務	5,542	5,602
その他	921,353	780,447
固定負債合計	7,301,520	7,515,660
負債合計	23,120,729	24,703,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,455,000	3,415,020
資本剰余金	797,309	5,989
利益剰余金	△1,833,357	398,171
自己株式	△6,289	△6,298
株主資本合計	3,412,661	3,812,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,450	29,345
為替換算調整勘定	—	△57
その他の包括利益累計額合計	186,450	29,287
少数株主持分	498,331	493,080
純資産合計	4,097,444	4,335,250
負債純資産合計	27,218,174	29,039,196



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	24,684,401	22,722,292
売上原価	21,104,034	19,113,827
売上総利益	3,580,367	3,608,465
販売費及び一般管理費	3,378,730	3,219,559
営業利益	201,636	388,906
営業外収益		
その他	210,231	203,779
営業外収益合計	210,231	203,779
営業外費用		
支払利息	169,294	154,041
その他	36,655	39,904
営業外費用合計	205,950	193,946
経常利益	205,917	398,738
特別利益		
受取保険金	1,485	—
受取賠償金	—	70,179
その他	189	435
特別利益合計	1,674	70,614
特別損失		
固定資産廃棄損	1,348	7,661
減損損失	4,571	6,034
特別損失合計	5,919	13,695
税金等調整前四半期純利益	201,672	455,658
法人税、住民税及び事業税	52,105	41,379
法人税等調整額	△4,005	△1,840
法人税等合計	48,100	39,539
少数株主損益調整前四半期純利益	153,572	416,118
少数株主利益	24,802	12,775
四半期純利益	128,769	403,343

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	153,572	416,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,679	△166,208
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△55
その他の包括利益合計	70,663	△166,264
四半期包括利益	224,236	249,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,591	246,180
少数株主に係る四半期包括利益	31,644	3,674

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	201,672	455,658
減価償却費	348,902	361,408
減損損失	4,571	6,034
持分法による投資損益(△は益)	△20,862	△25,726
有形固定資産廃棄損	1,348	7,661
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25,081	70,114
賞与引当金の増減額(△は減少)	99,132	24,692
退職給付引当金の増減額(△は減少)	67,455	△4,565
受取利息及び受取配当金	△44,639	△41,705
受取賠償金	—	△70,179
支払利息	169,294	154,041
売上債権の増減額(△は増加)	△1,604,025	△2,269,787
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,145	△223,042
仕入債務の増減額(△は減少)	851,027	1,611,364
未払消費税等の増減額(△は減少)	52,534	7,250
その他	△61,504	△34,083
小計	84,842	29,136
利息及び配当金の受取額	46,139	42,705
賠償金の受取額	—	70,179
利息の支払額	△168,468	△154,127
法人税等の支払額	△20,458	△51,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	△57,945	△63,198
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△265,934	△320,601
定期預金の払戻による収入	275,000	305,000
有形固定資産の取得による支出	△220,671	△434,124
無形固定資産の取得による支出	△16,478	△906
投資有価証券の取得による支出	△2,769	△2,831
その他	26,362	△14,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,491	△467,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△310,000	△20,000
長期借入れによる収入	1,969,574	1,328,000
長期借入金の返済による支出	△1,045,914	△919,544
リース債務の返済による支出	△82,249	△104,365
少数株主への配当金の支払額	△8,920	△8,920
その他	—	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	522,490	275,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	△171	△321
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	259,882	△255,870
現金及び現金同等物の期首残高	1,845,977	2,749,880
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,105,860	2,494,009

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,653,191	9,132,744	11,841,112	23,627,048	1,057,353	24,684,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,367	57,751	716,741	780,861	208,706	989,567
計	2,659,559	9,190,495	12,557,854	24,407,910	1,266,059	25,673,969
セグメント利益	97,069	69,456	530,952	697,478	95,666	793,144

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	697,478
「その他」の区分の利益	95,666
セグメント間取引消去	454
全社費用(注)	△591,962
四半期連結損益計算書の営業利益	201,636

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,361,956	8,402,907	10,988,730	21,753,594	968,698	22,722,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,390	63,242	630,170	698,804	196,630	895,434
計	2,367,346	8,466,150	11,618,901	22,452,398	1,165,328	23,617,727
セグメント利益	64,113	110,545	673,595	848,253	70,707	918,961

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	848,253
「その他」の区分の利益	70,707
セグメント間取引消去	15,760
全社費用(注)	△545,815
四半期連結損益計算書の営業利益	388,906

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当社の平成24年6月25日開催の定時株主総会において、「資本金および準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の件」が承認可決され、平成24年8月3日にその効力が発生しました。これにより、資本金が1,039,979千円、資本剰余金が791,319千円それぞれ減少し、利益剰余金が1,831,299千円増加しました。

なお、株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。